

## 平成25年度（第67年度）事業報告

平成25年度は「公益財団法人」に移行して3年度目、23年度から始まった「構造改革3か年計画」の最終年度にあたります。

従いまして、平成25年度事業報告は構造改革3か年計画の最終年度の目標として掲げた2つのテーマの結果を具体的にご報告申し上げます。

始めに第一のテーマである「生活習慣病をこの世の中から撲滅する為」にこれまで三越厚生事業団として実施してきたすべての事業を「今後に向けて再整備する」という計画の進捗についてご報告致します。

テーマ1の「今後に向けての事業の再整備」は以下の3つ方針があります。

- ① 健診事業は「量」から「質」への転換をはかること
- ② 診療事業は生活習慣病に関する専門性を明確に打ち出して受診者数を増やすこと
- ③ その他の公益事業は今後継続・強化する事業、縮小・廃止する事業を峻別していくこと

「健診事業の「量」から「質」への転換」については25年度の事業計画の中で「三越厚生事業団に於ける健診事業の目指すべき方向性の本格的な検討」を掲げました。

3か年計画の中で毎年、掲げられてきた「健診事業の質的向上」を必ず実施レベルに引き上げるという決意を込め敢えて「本格的な検討」と致しました。

この結果、26年度の事業計画に「乳腺エコー検査の27年度の4月スタートに向けての体制整備」「胃部内視鏡を選択できる健診の実施」「大腸内視鏡検査体制の強化」「婦人科検診の体制の整備」の4つの具体的な施策を盛り込むことが出来ました。

尚、乳腺エコー検査の来年4月からの実施に向けては既に5月よりJR東京総合病院に於いて当事業団職員2名による6か月間の実地研修がスタートしております。

次に二番目の「診療事業に於いて生活習慣病に関する専門性を打ち出し、受診者数を増やす」ことについて昨年度は「外来診療枠の拡大」と「専門外来の検討」を具体的な施策に掲げ取り組みました。

外来枠の拡大は、延べ患者数が前年よりも247名増えて久し振りに2万人の大台を回復するという結果をもたらしました。

専門外来の検討については、昨年に引き続き13回にわたる「事業団の方向性検討会」で討議を重ねた結果、従来の外来診療を5つの専門外来と総合診療とに再編し、2014年4月からスタートさせる事を決定致しました。現在、既に5専門外来／総合診療の外来診療体制で運営されております。

尚、専門外来のスタートにあたっては新たに購入した医療機器CAVIによる動脈硬化の検査、携帯型24時間自動血圧計による血圧管理や塩分摂取量の検査を加えて、25年

度から開始した起立試験や自律神経テストも含めて新しい診療や新しい検査方法の導入も併せて行っております。

又、下半期の追加施策として「インフルエンザ予防接種」の積極的な受け入れを掲げ、エステック情報ビルのテナントで働く従業員を対象として特別接種日の設定や外部企業に出張し、数十人～百人単位の予防接種を行う出張予防接種にも取り組んだ結果、25年度累計の延べ受診者数は2年連続で前年を上回ることが出来ました。

最後の「その他公益事業を継続・拡大する事業と縮小・廃止する事業に峻別する」ことについては、厳しい事業団の経営状況の中にあっても助成事業については最低でも前年同レベルの助成金額を確保することを念頭に募集を致しました。

審査の結果、優れた研究が多かったこともあり前年を上回る研究助成金額を贈ることに致しました。

又、健康啓蒙活動は従来の方法を総点検し、経費を抑えて最大の効果を上げる為に、健康セミナーの企画から運営までの業務の中で内製化できるものは極力、職員の手で行うように致しました。

結果として、企画本数は前年同レベルでしたが、総動員数では前年を割り込みました。

これは、全く新しい参加者の募集に重点を置いて企画したことが原因と捉えております。反面、全企画の参加者の内、6割を超える人が初めて三越厚生事業団のセミナーを受けた人という好材料も結果として出ております。

又、自前での企画・運営に努めた為、経費面では前年を大幅に下回っております。

以上、「今後に向けての事業の再整備」の3つの方針については、具体的な取り組みが出来たと思っております。

もう一つのテーマである「25年度の事業団収支の黒字化」については、24年度、25年度と2年続けて健診・診療の延べ受診者数が増え、事業収入計が健診・診療共に増加した上、事業経費も2年連続で大幅に削減出来た為、3か年計画の最終目標であった25年度の事業団収支の黒字化が達成出来ました。

因みに延べ受診者数、総経常収益、総経常経費、差引経常増減額の3か年の推移は以下の通りです。※2年間で1億31百万の収支改善（実質は約1億円改善）

《延べ受診者数》 23/25年対比 +1370名

23年度 33704名 24年度 34400名 25年度 35074名

《総経常収益》 23/25年対比 +60601千円

23年度 618776千円 24年度 662285千円 25年度 679377千円

《総経常費用》 23/25年対比 ▲71319千円

23年度 726892千円 24年度 687311千円 25年度 655573千円

《差引経常増減額》 23/25年対比 +131919千円

23年度 ▲108115千円 24年度 ▲25026千円 25年度 +23804千円

## 平成25年度事業報告

### I 事業運営に関する事項

#### 【1】生活習慣病の疾病の病因・診断・治療及び予防に関する調査研究のための健診並びに診療事業(定款第4条第1号・第2号・第5号事業)

##### 1. 健診・診療事業の受診者状況

###### (1) 健診・診療事業

- ・当事業団の根幹の事業である健診・診療事業はそれぞれの事業に於いて受診者増の施策を実施することにより年間35,000件余の受診者データを収集することが出来ました。

このデータをもとに生活習慣病とその他疾病の予防や病因解明の研究にあたりると共に健康啓蒙活動や健康相談にもデータを活用し事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」の為の啓蒙・普及活動を推進致しました。

- ・健診事業に於いて25年度は主要既存契約先からの受け入れ受診者数が大幅に増えた事と24年度に指定健診施設契約を締結した企業からの受診者受け入れが本格化した事等に依り、3年連続して健診受診者延べ人数は増加しました。
- ・診療事業に於いては25年度の施策として取り上げた「外来枠の増設」や「胃部内視鏡検査の強化」が効果を上げたことや事業団の入居するエステック情報ビルのテナント企業に対するインフルエンザ予防注射接種の呼び掛け効果もあり、2年連続で診療患者延べ人数も前年を上回りました。

以上の結果、平成25年度の健診・診療事業の受診者数は以下の通りとなりました。

###### 〈健診事業〉

###### ○ 健診受診者延べ人数

- ・生活習慣病健診 11,755名(前年度11,207名)
- ・雇用時健診・定期健診 2,328名(前年度2,245名)
- ・新宿区・中野区成人病健康検査 879名(前年度883名)

計 14,962名(前年度14,535名)

###### 〈診療事業〉

###### ○ 診療患者延べ人数

- ・内科 18,914名(前年度18,740名)
- ・予防注射 985名(前年度884名)

・精密検査

213名(前年度 241名)

計 20,112名(前年度 19,865名)

(2) 社会福祉施設

本年度は前年に引き続き具体的活動なし。

2. 当事業団医師並びに職員による研究活動

(1) 臨床検査、エックス線検査の統計調査

平成24年度(24年4月～25年3月)に実施した臨床検査項目別の統計、消化器・胸部エックス線検査、エコー検査、CT検査等の撮影実数統計等は「事業年報」第40号に掲載し、関係医師団体、諸官庁、各職域健康保険組合及び関連財団法人等200団体に配布致しました。

(2) 平成25年度の所内研究(発表会開催)

- 実施日 平成26年4月23日(水)
- 会場 5階 三越総合健診センター
- 発表内容 以下の10題

- ① 特定健診問診票からみた食行動と身体計測・血液データの関連について
- ② 二次検査受診率に影響を及ぼす要因
- ③ 三越診療所における睡眠薬の処方と不眠症の実態調査
- ④ IMTと健診データの比較
- ⑤ 胃内視鏡検査時における前処置剤プロナーゼ®MSの使用法の検討とその効果
- ⑥ 「電話が繋がりにくい」という患者さん、受診者さんの不満を減らす為に
- ⑦ 診療事務部として受診者の増加について考える(昨年度より継続)
- ⑧ マンモグラフィポジショニングの向上
- ⑨ 外来頭痛患者における共存症・推定塩分摂取量外来測定報告
- ⑩ BNP、高感度CRP、インスリンと心機能の関連について(第2報)

(3) 学会発表、論文寄稿、講演活動について

① 学会における演題発表

氏名	参加月	名称	演題	開催地
水野 杏一	4月	第110回日本内科学会	循環器の画像診断	東京
近藤 修二	4月	第110回日本内科学会	ストレスの心機能に与える影響について(男女差を含む)	東京
水野 杏一他	7月	第22回日本心血管インターベンション学会学術集会	血管内視鏡ならびに光干渉断層法で固定されるステント留置後の内膜の動脈硬化性変化	神戸
水野 杏一他	7月	第19回日本血管治療学会総会	冠動脈ステント留置後の血管治癒反応：血管内視鏡による観察	青森
水野 杏一	8月	Tird East Asia international cardiovascular symposium	Seeing is believing	Harbin
横山 雅子他	8月	第54回日本人間ドック学術大会	片頭痛と緊張型頭痛患者におけるアルコールフラッシング <sup>®</sup> 反応と飲酒習慣	浜松
水野 杏一	9月	第一回十勝帯広ハートセミナー	Neoatherosclerosis	帯広
横山 雅子他	10月	第41回日本救急医学総会	首都圏の勤労者における頭痛の実態調査	東京
水野 杏一	11月	第50回日本臨床生理学総会	循環器画像の進歩	東京
水野 杏一	11月	America Heart Association Scientific Session 2013	Best of Other Cardiovascular Meeting; Japanese Circulations Society	Dallas
山下 毅	11月	第60回日本臨床検査医学会学術集会	動脈硬化症疾患の予防及び診療における脂質検査の現状と課題	神戸
横山 雅子他	11月	第41回日本頭痛学会総会	頭痛病型と飲酒	岩手
水野 杏一他	12月	第27回日本冠疾患学会学術集会	他施設研究内視鏡観察による薬剤溶出性ステント留置による病変部に対する影響	和歌山
影山 洋子	1月	第42回日本総合健診医学会大会	複数の鬱調査票における対象者の回答しやすさの比較	東京

② 外部講演会(医師、医療従事者、製薬会社等)

水野 杏一	5月	第56回三重心臓講演会	Seeing is believing 2013	三 重
山下 毅	6月	国立健康セミナー	動脈硬化を防ごう！メタボリックシンドローム予防の為の生活習慣	東 京
水野 杏一	7月	春日部心臓談話会	冠動脈を覗く	春日部
水野 杏一	9月	第21回神奈川循環器談話会	Seeing is believing	横 浜
船津 和夫	11月	製薬会社MR勉強会	脂肪肝(NASH・NAFLD)と生活習慣病	東 京
横山 雅子	11月	城西頭痛フォーラム	見逃さないCa血症による頭痛	東 京
水野 杏一	1月	公益法人協会 知のサロン	塩は高血圧の敵	東 京
水野 杏一	2月	中央区集団給食研究会	塩は高血圧の敵	東 京
水野 杏一	2月	生活習慣病セミナー	運動療法	大 津

③当事業団医師の発表論文、その他雑誌・新聞・テレビ等

論 文 名 等	氏 名	掲 載 雑 誌 名 等
Is the risk of new onset diabetes by stain associated with diet adherence	Mizuno. K, Tajima.Y. Nakamura.H	Inter J Cardiol In Press(on line)
Prognostic value of depression, anxiety,and anger in hospitalized cardiovascular disease patients for predicting adverse cardiac outcomes	Nakamura.S Kato.K,Yoshida.A Fukuma.N,Okumura.Y Ito.H.,Mizuno.K	Am J cardiol 111:1432-1436:2013
Relationship between left] Ventricular dyssynchrony and failure:Assessment with 99m TC-sestamibi ated Myocardial scintigraphy	Miyauchi.H Yamamoto.A,Otsuka.T Yoshikawa.M,Kodani.E Endo.Y,Nakagomi.A Kusama.Y.,Mizuno.K	Inter J Cardiol 167:96-930-935:2013

Risk reduction for cardiovascular disease with pravastatin treatment by dyslipidemia phenotype :A post hoc analysis of the MEGA Study	Mizuno.K,Nakamura.H Nishikawa.M,Ikewaki.K Ayaori.M,Ohsuzu.F Ohashi.Y,Ishikawa.T	J Cardiol 61:196-200:2013
A case of marked diuresis by combined dopamine and atrial natriuretic peptide administration without renal injury in acute decompensated heart failure	Kamiya.M Sato.N,Akiya.M Ozaki.H,Takahashi.Y Mizuno.K	Int Heart J 54:243-245:2013
Histopathological and clinical Characteristics of duodenal Gastrointestinal stromal tumors as predictor of malignancy	Nakamura.Y Saito.T,Uenao.M,Ota.Y Hashimoto.M,Udagawa.H Ohashi.K,Watanabe.G Mizuno.K	World J sur Oncol 11:202-209:2013
Giant left atrium due to mitral stenosis with massive atelectasis :A successful case perioperative approach	Tanita.A,Hosokawa.Y Tomiya.T,Kato.M Tanaka.K Mizuno.K	Internal journal of Cardiology 163:e23- e25 2013
Optical coherence tomography and coronary characterization	Soeda.T,Uemura.S Saito.Y,IK-King Jang Mizuno.K	J Jpn Coron Assoc 19:307-314:2013
Application of invasive intracoronary imaging to clinical use	Takano.M,Inami.S Seino.Y,Mizuno.K	J Jpn Coron Assoc 19:315-321:2013
Acute myocarditis associated with Coxsackvirus B4 mimicking influenza myocarditis	Ikeda.T Saito.T,Takagi.G,Sato.S Takano.H,Hosokawa.Y Hayashi.M,Asai.K Yasutake.M,Mizuno.K	Circulation 128:2811-2812:2013

Histopathological and clinical characteristic of duodenal gastrointestinal stromal tumors as predictors of malignancy Efficacy and effect on lipid metabolism of combination treatment with Losartan+ Hydrochlorothiazide versus	Saito.T,Ueno.M Ota.T,Nakamura.Y Hashimoto.M,Udagawa.H Ohashi.K,Wtanabe.G Mizuno.K	World J Surjical Oncology;11;202-211 ;2013
Losartan+Amlodipine : A48-weekprospective, multicenter,randomizede,open-label trial.	Nishiwaki.M,Hosoai.H Ikewaki.K,Aoyori.M Yamashita.T,Shige.H Higashi.K,Nashida.Y Shimizu.S,Kijima.F Yokoyama.M,Nakamura.H	Clin Ther 2013;35;461-73
Headache prevalence and Characteristics of a socially active population working in the Tokyo metropolitan area-surveillance by an industrial health consortium	Suzuki.N,Ishikawa.Y Gomi.S,Ito.N,Watanabe.S Miyake.H,Yokoyama.H Yokoyama.M,Funatsu.K Shimizu.T,Shibata.M	Intern Med 53:683-689,2014
循環器領域における画像診断 (特に血管診断について)	水野 杏一	日本内科学会誌 102-2440-2446; 2013
第77回循環器学会学術集会を主催して	水野 杏一	循環器専門医 21;187-189;2013
医窓通信	水野 杏一	新医療 No461 62-64 2013
不安定プラークにおける画像診断のポイント① 血管内視鏡	水野 杏一	日本医事新報 4671 35-40 2013
不安定プラークにおける画像診断のポイント② 血管内超音波 IVUS/光干渉断層法 OTC	水野 杏一	日本医事新報 4676 19-22 2013

IVUS(血管内超音波)	水野 杏一、稲見 茂信	血栓と循環 21;54-57 2013
不安定プラークにおける 画像診断のポイント③ スペクトロスコピー	水野 杏一	日本医事新報 4693;35-40
脂肪肝と高血圧発症に関する 縦断的調査	船津和夫、横山雅子 近藤修二、斗米馨、本間優 和田哲夫、影山洋子 水野杏一	人間ドック学会 28;65-70 2013
名医の最新治療 急性冠症候群	水野杏一、鈴木洋 高見澤格	週間朝日 Vol287(7月19日)85-87
蘇生医学と集中医療	水野 杏一	ラジオ NIKKEI 医学講座 2013年10月17日
怒りと心臓病	水野 杏一	NHK テレビ9時のニュース 2013年11月27日
心臓病と怒り	水野 杏一	NHK テレビ NewsWeb 2013年11月28日
狭心症タイプ別分類	水野 杏一	NHK ためしてガッテン 2013年12月16日
新「名医の最新治療」 急性冠症候群「心臓の血管の 病気」	水野 杏一	週間朝日 MOOK 2013年12月 183-185
死に直結する急性冠症候群	水野 杏一	日刊ゲンダイ 2014年1月8日 14
ST 上昇型旧性心筋梗塞の診療に 関するガイドライン	水野 杏一	循環器の診断と治療に関するガイド ライン 2013年 日本循環器学会
生活習慣病と頭痛	横山 雅子	クリニシャン 14No625(27-31)
高血圧患者さんへの指導の ポイント	横山 雅子	Medical Tribune 2013年12月12日
毎日飲むコーヒーが脂肪肝を 抑制する	船津 和夫	Coffee Break;78;30-33,2014
ABC 検診について	船津 和夫	新宿区新聞

受けて終わりじゃダメ！年に1度、健康診断を受けるワケ	船津 和夫	Mens HOLOS Healthcare web magazine for men 2013年4月2日
----------------------------	-------	--

【2】生活習慣病等の疾病の予防及び健康保持増進のための事業（定款第4条第2号事業）

(1) 生活習慣病健診報告会健康管理者セミナー

25年度は名称を従来の「生活習慣病健診報告懇話会」から「生活習慣病健診報告会健康管理者セミナー」に変更し、健診契約をしている企業の担当者の方にとって関心の高い講演を中心としたプログラムに変更した。

具体的には水野常務理事の「塩は高血圧の敵」と山下所長による「三越総合健診センターの取組み」の2つの講演を行った。三越総合健診センターの取組みの講演では、現在進行中もしくは次年度から取り組む「新しい健診の取組み」を具体的に説明した。参加者は前年より11名多い54名。会期後のアンケートは12通回収。

実施日 平成25年12月5日（木）

会場 エステック情報ビル21階「会議室A」

参加人数 36事業所 54名

報告会 「塩は高血圧の敵」

講師：水野 杏一（三越厚生事業団 常務理事）

「三越総合健診センターの取組み」

講師：山下 毅（三越厚生事業団 三越診療所 所長）

(2) 健康イベント等の自主開催

「食と健康」をテーマとした受講者参加型の健康イベントを2回開催しました。

開催日時：平成26年2月3日（月）午後3時～午後5時15分

会場：エステック情報ビル21階会議室

演題／講師

：「塩は高血圧の敵」 水野 杏一（三越厚生事業団 常務理事）

：「減塩食のすすめ」 布川 かおる（三越厚生事業団 管理栄養士）

食事：「減塩食の惣菜セット」 ※調理協力 井上 清子氏

参加者：34名（中央区集団給食研究会会員・企業社員食堂担当者他）

開催日時：平成26年2月10日（月）午前10時～午後2時

会場：女子栄養大学構内3号館5階小講堂&「松柏軒」

演題／講師

：「認知症になる、ならない？嘘と本当」木之下 徹氏（こだまクリニック院長）

：「健康を守る食事」 蒲池 桂子氏（女子栄養大学教授）

食 事：「認知症予防・健康な食事」 ※松柏軒料理長宮田氏による料理説明  
参 加 者：95名(伊勢丹丹光会、丹麗会会員)

【3】生活習慣病等の疾病の予防・診断・治療に関する啓蒙、啓発及び普及事業  
(定款第4条第3号事業)

(1) 健康セミナー・健康講座の開催

事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」に繋がる演題を設定し、新聞媒体等のより広く一般の方々からの参加者を募集する健康セミナーを開催しました。

《平成25年度開催結果》

回 数 年間3回(健康セミナー3回、健康講座0回)

前年4回(健康セミナー2回、健康講座2回)

参加者数：延べ 490名(前年 830名)

・内容は以下の通り

○ 健康セミナー(会場/三越劇場)

第39回健康セミナー

開催日時：11月13日(水)午後1時～午後2時30分

会 場：三越日本橋本店 6階 三越劇場

主 催：公益財団法人 三越厚生事業団

後 援：日本動脈硬化学会・日本人間ドック学会・毎日新聞社

講演内容：演題「塩は高血圧の敵」

講師 藤田 敏郎氏(東京大学 名誉教授)

参加人員：210名

○ 健康セミナー(会場/三越劇場以外)

開催日時：6月12日(水)午後1時30分～午後4時

会 場：くにたち市民芸術小ホール

主 催：国立市、国立市観光まちづくり協会

後 援：公益財団法人 三越厚生事業団

公益財団法人 くにたち文化スポーツ振興財団

講演内容：演題「がんと向き合って生きる」

講師 垣添 忠生氏(公益財団法人 日本対がん協会会長)

演題「動脈硬化を防ごう！メタボリックシンドローム予防のための生活習慣」

講師 山下 毅(公益財団法人 三越厚生事業団)

参加人員：220名

○ ミニ健康セミナー

開催日時：4月13日（土）午前11時～12時、午後2時～3時

会場：銀座三越9階銀座テラス特設会場

主催：株式会社三越伊勢丹 銀座店

協力：公益財団法人 三越厚生事業団

講演内容：演題「ワーキングウーマンとヤングママの為の

乳がん予防アドバイス」

講師 山内 英子氏（聖路加国際病院プレストセンター長）

演題「おいしく食べて健康になる」

講師 布川 かおる（三越厚生事業団 管理栄養士）

参加人員：「乳がん予防アドバイス」 40名（着席・立ち見含む）

「おいしく食べて健康になる」 20名

※その他、広域媒体による募集ではありませんが以下のセミナーを開催しております。

開催日時：1月22日（水）午後4時～5時

会場：公益法人協会10階会議室

主催：公益財団法人 公益法人協会

協力：公益財団法人 三越厚生事業団

講演内容：演題「塩は高血圧の敵」

講師 水野 杏一（三越厚生事業団 常務理事）

参加人員：20名（公益法人協会会員）

(2) 生活習慣病予防の啓発、広報活動

① 事業年報の作成・配布

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）に実施した集団健診、診療等の統計調査と観察結果を「事業年報」第40号に取り纏め職域健康保健組合及び企業関係者、関係医療団体（病院・研究機関）、関連社団法人・財団法人等に配布しました。

② 三越厚生事業団ホームページによる情報発信

公益財団法人の認定を機に24年2月に全面刷新したホームページを活用し、公益財団法人としての経営情報の開示、公益活動の紹介等をリアルタイムに行いました。

③ 毎日新聞（関東近県版）に健康特集記事を掲載

10月19日の毎日新聞（関東近県版120万部）に「減塩社会をみんなの手で」と題した健康特集記事（全15段カラー）を掲載。広域の方々に減塩が如何に大切か！というメッセージを発信した。

④ からだFES2013を後援

4月27日～29日恵比寿ガーデンプレイスで開催された健康イベント「からだFES2013」を後援。期間中のフェスタ来場者は11万4000人。

【4】生活習慣病等の予防、診断、治療に関する研究助成並びに研究者への各種助成事業  
(定款第4条第4号事業)

1. 平成25年度 第41回三越医学助成研究

生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内並びに東京都近隣の大学医学部医学研究施設、病院等を対象に生活習慣病とその治療を中心とした研究課題について広く公募し助成対象者を選抜して助成金を交付しました。25年度の応募総数は17件で、その中より厳正な審査を経て受賞者3名を決定しました。

●募集・選考日程

- ・ 4月15日(月)『募集研究課題設定委員会』を開催し研究課題決定公募を開始(募集締め切り7月末)
- ・ 8月9日(金)審査員を決定し審査委員長選任し『審査委員会』を設置
- ・ 9月6日(金)『助成選考委員会』を開催し助成対象者、助成金額を決定
- ・ 11月13日(水)三越医学研究助成贈呈式 開催

① 研究課題の決定

- 研究課題1 「急性冠症候群の発症機序(基礎から臨床まで)」  
研究課題2 「老化と酸化ストレス」  
研究課題3 「睡眠障害と生活習慣病」

② 審査委員会による応募課題審査

〈審査委員〉

- 審査委員長 水野 杏一 (三越厚生事業団 常務理事)  
審査委員 上田真喜子氏 (大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学教授)  
平山 篤志氏 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野教授)  
池脇 克則氏 (防衛医科大学内科学講座神経・抗加齢血管内科教授)  
下川 宏明氏 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学分野教授)  
井上 雄一氏 (東京医科大学睡眠学講座教授)  
岡 靖哲氏 (愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター所長)  
山下 毅 (三越厚生事業団理事・三越診療所長)  
中村 治雄 (三越厚生事業団 顧問)

〈審査・選考〉

研究課題テーマ毎に専門分野の審査員を選任し評価を行いました。評価にあたっては応募者の研究機関名、氏名をブラインドにして総合点により上位者を助成対象者としました。今年度については研究

課題3つのそれぞれに対し外部審査員2名と事業団審査員1名  
計3名3組9名を審査員と、より透明性のある審査を実施した。

③ 助成選考委員会

審査委員会による審査結果を受けて『助成選考委員会』を開催し、助成対象者及び助成金額を決定しました。

④ 三越医学研究助成贈呈式

11月13日(水) 三越日本橋本店6階三越劇場及び三越新館5階ランドマークにて三越医学助成贈呈式、受賞記念パーティを開催致しました。

⑤ 25年度の助成対象者は以下の通り。

第41回 三越医学研究助成対象者

氏名	所属機関	課題	研究課題	助成金
西村 智	自治医科大学 分子病態治療研究センター 分子病態研究部教授	1	生体分子イメージングによる 動脈硬化リモデリングと 血栓破綻過程の可視化	300万円
清水 孝彦	千葉大学大学院 医学研究院 先進加齢医学准教授	2	スーパーオキシドを起点とした 酸化ストレスによる組織障害の 分子シグナル解析	150万円
柳下 聡介	埼玉医科大学医学部 薬理学教室助教	3	睡眠時無呼吸症候群モデルにおける 神経変性疾患関連タンパク質の 動態解明	100万円

(注) 研究課題1「急性冠症候群の発症機序(基礎から臨床まで)」

研究課題2「老化と酸化ストレス」

研究課題3「睡眠障害と生活習慣病」

2. 平成25年度 第14回海外留学渡航費助成

海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者で留学先受入研究機関が決まっている者、若しくは海外留学中で留学受入先の研究指導者の推薦がある者に対し留学費用の一部として渡航費の助成を行いました。25年度は選考の上、4名の受賞者を決定し、夫々に助成金を交付しました。

●募集・選考日程

- ・ 4月15日(月) 公募開始(募集締め切り7月1日(月))
- ・ 7月19日(金) 『助成選考委員会』を開催し助成対象者を決定
- ・ 8月23日(金) 助成金を贈呈

- 25年度の助成対象者は以下の通り。

第14回 海外渡航費助成対象者

氏名	所属機関	留学先	研究課題	助成金
船尾 陽生	慶應義塾大学 医学部 整形外科教室	ジョーンズ ポプキンス大学	脊椎変形施術における脊椎 骨盤固定術 S2AI 法の習熟 並びに低浸襲手術への応用、 脊椎骨盤固定形態を用いた 脊椎変形の病態解明	50万円
森下 幸治	東京医科歯科大学 医学部附属病院 救急災害医学講座	カリフォルニア 大学 サンディエゴ校	外傷性出血性ショックにおける 腸管及び腸間膜リンパ液中の 免疫細胞への頸部迷走神経 刺激関与の解明	50万円
川上 正敬	東京大学 医学部附属病院	ダートマス大学	肺癌におけるサイクリン依存 性キナーゼ(Cdk)阻害剤等の 新規治療開発	50万円
品川俊一郎	東京慈恵会 医科大学 精神医学講座	カリフォルニア大学 サンディエゴ校 メモリー&エイジングセンター	神経変性疾患における社会 認知障害の神経メカニズムの 解明	50万円

## II. 管理・運営事項

### 1. 理事会・評議員会の開催

#### (1) 理事会の開催

##### ① 第9回 理事会

- ・開催日 平成25年6月3日(月)
- ・場所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議題 第1号議案 平成24年度事業報告書、正味財産計算書・貸借対照表  
及び附属明細書、財産目録承認の件  
第2号議案 第5回定時評議員会開催の件  
第3号議案 顧問委嘱の件

報告事項として代表理事と業務執行理事の業務執行報告を行いました。

② 第10回 理事会

- ・開催日 平成25年11月29日(金)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成25年度上半期業績報告の件  
第2号議案 代表理事、業務執行理事の業務執行報告の件  
第3号議案 臨時評議員会開催の件  
第4号議案 その他

③ 第11回 理事会

- ・開催日 平成26年3月18日(火)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成26年度事業計画案及び収支予算案審議の件  
第2号議案 その他

(2) 評議員会の開催

① 第5回 定時評議員会

- ・開催日 平成25年6月18日(火)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成24年度事業報告書、正味財産計算書・  
貸借対照表及び附属明細書、財産目録承認の件

② 第6回 臨時評議員会

- ・開催日 平成26年3月18日(火)
- ・場 所 エステック情報ビル 21階 会議室
- ・議 題 第1号議案 平成26年度事業計画及び収支予算案承認の件

2. 業務事項

- ① 平成25年6月28日 平成24年度事業報告書・決算書を東京都に提出  
(電子申請)
- ② 平成26年3月28日 平成26年度事業計画書・収支予算書を東京都に  
提出(電子申請)

### 3. 報告事項

#### (1) 外部監査の実施（アーク監査法人）

- ① 平成25年5月13日（月）～15日（水） アーク監査法人による期末監査
- ② 平成25年5月23日（木） 監事への監査講評会実施
- ③ 平成25年9月17日（火）～18日（水） 期中取引監査
- ④ 平成26年2月13日（木）～14日（金） 期中取引監査
- ⑤ 平成26年3月31日（月） 試薬棚卸・現金実査・立会い

#### (2) その他

平成25年度が事業団の中期3か年計画の最終年度になることから、7月より常務会メンバーによる「事業団のあるべき姿検討会」を3か月に亘り開催し、26年度からの中長期的な展望も睨んだ上で26年度の事業計画案を立案した。

# 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	104,805,485	83,801,654	21,003,831
未収入金	65,602,365	50,889,272	14,713,093
貯蔵品	905,515	680,485	225,030
前払費用	14,271,017	13,909,865	361,152
流動資産合計	185,584,382	149,281,276	36,303,106
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券	17,412,817,968	18,560,915,856	▲ 1,148,097,888
基本財産合計	17,412,817,968	18,560,915,856	▲ 1,148,097,888
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	50,000,000	50,000,000	0
公益事業基金	349,470,000	223,400,000	126,070,000
器具備品	2,753,831	4,723,552	▲ 1,969,721
特定資産合計	402,223,831	278,123,552	124,100,279
(3) その他固定資産			
建物造作	73,854,315	78,029,993	▲ 4,175,678
建物付属設備	19,786,284	24,079,173	▲ 4,292,889
器具備品	563,091	1,456,523	▲ 893,432
リース資産	59,812,760	12,036,958	47,775,802
敷金・保証金	87,699,900	92,092,188	▲ 4,392,288
投資有価証券	175,530,000	235,868,000	▲ 60,338,000
その他固定資産合計	417,246,350	443,562,835	▲ 26,316,485
固定資産合計	18,232,288,149	19,282,602,243	▲ 1,050,314,094
<b>資産合計</b>	18,417,872,531	19,431,883,519	▲ 1,014,010,988
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
買掛金	3,688,397	2,775,077	913,320
未払金	17,773,527	29,281,941	▲ 11,508,414
リース債務	15,903,353	5,876,857	10,026,496
未払消費税等	1,461,700	3,116,200	▲ 1,654,500
預り金	1,863,785	3,877,199	▲ 2,013,414
賞与引当金	15,735,000	14,435,250	1,299,750
流動負債合計	56,425,762	59,362,524	▲ 2,936,762
<b>2. 固定負債</b>			
リース債務	43,892,063	6,222,702	37,669,361
退職給付引当金	86,066,000	79,798,000	6,268,000
役員退職慰労引当金	4,100,000	900,000	3,200,000
固定負債合計	134,058,063	86,920,702	47,137,361
<b>負債合計</b>	190,483,825	146,283,226	44,200,599
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
地方公共団体補助金	4,458,104	5,442,964	▲ 984,860
投資有価証券	17,412,817,968	18,560,915,856	▲ 1,148,097,888
指定正味財産合計	17,417,276,072	18,566,358,820	▲ 1,149,082,748
(うち基本財産への充当額)	(17,412,817,968)	(18,560,915,856)	▲ 1,148,097,888
(うち特定資産への充当額)	(4,458,104)	(5,442,964)	▲ 984,860
<b>2. 一般正味財産</b>	810,112,634	719,241,473	90,871,161
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(397,765,727)	(272,680,588)	125,085,139
<b>正味財産合計</b>	18,227,388,706	19,285,600,293	▲ 1,058,211,587
<b>負債及び正味財産合計</b>	18,417,872,531	19,431,883,519	▲ 1,014,010,988

# 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	136,678,320	136,678,320	0
基本財産受取配当金	136,678,320	136,678,320	0
② 特定資産運用益	11,133,078	8,531,781	2,601,297
特定資産受取利息	11,133,078	8,531,781	2,601,297
③ 生活習慣病事業収益	523,634,662	509,605,237	14,029,425
健診研究事業収益	369,276,975	356,326,519	12,950,456
生活習慣病健診収益	309,489,849	294,201,792	15,288,057
雇用時健診収益	5,271,131	6,851,270	▲ 1,580,139
定期健診収益	21,632,093	22,266,515	▲ 634,422
区健診収益	32,883,902	33,006,942	▲ 123,040
診療研究事業収益	138,115,687	136,761,718	1,353,969
診療報酬収益	130,782,125	128,776,831	2,005,294
自費収益	5,487,609	6,140,401	▲ 652,792
再検査料収益	313,887	323,393	▲ 9,506
精密検査料収益	1,532,066	1,521,093	10,973
健康増進普及事業収益	16,242,000	16,517,000	▲ 275,000
健康相談事業収益	16,242,000	16,517,000	▲ 275,000
④ 受取補助金等	984,860	1,689,297	▲ 704,437
受取補助金等振替額	984,860	1,689,297	▲ 704,437
⑤ 受取寄付金	0	300,000	▲ 300,000
受取寄付金	0	300,000	▲ 300,000
⑥ 雑収益	6,946,896	5,481,160	1,465,736
有価証券運用益	6,411,613	4,914,763	1,496,850
債券2運用益	1,697,120	1,045,692	651,428
債券4運用益	4,714,493	3,869,071	845,422
雑収益	535,283	566,397	▲ 31,114
経常収益計	679,377,816	662,285,795	17,092,021
(2) 経常費用			
① 生活習慣病研究事業費	646,330,164	677,770,230	▲ 31,440,066
役員報酬	21,800,000	16,406,700	5,393,300
給料手当	166,915,101	195,123,839	▲ 28,208,738
基準外給料	1,743,902	1,933,711	▲ 189,809
賞与	23,672,176	27,706,798	▲ 4,034,622
賞与引当金繰入額	15,703,848	14,389,230	1,314,618
役員退職慰労引当金繰入額	2,880,000	810,000	2,070,000
役員退職慰労金	0	266,400	▲ 266,400
退職給付費用	7,809,433	16,594,314	▲ 8,784,881
臨時雇賃金	36,712,064	31,977,259	4,734,805
福利厚生費	41,230,184	46,818,457	▲ 5,588,273
旅費交通費	7,942,526	9,299,008	▲ 1,356,482
研究研修費	3,269,827	2,796,519	473,308
交際費	732,243	786,891	▲ 54,648
通信費	3,040,863	2,937,045	103,818
什器備品費	2,140,958	485,087	1,655,871
割賦・機器リース料	8,179,232	12,659,723	▲ 4,480,491
リース支払利息	453,485	352,171	101,314
検査・材料費	54,138,942	51,315,777	2,823,165
薬品費	4,688,845	3,582,273	1,106,572
消耗品費	12,871,390	13,279,920	▲ 408,530
修繕費	17,094,655	19,824,651	▲ 2,729,996
印刷製本費	4,292,703	4,799,200	▲ 506,497
水道光熱費	7,574,685	6,887,632	687,053
借室料	92,662,862	97,253,021	▲ 4,590,159
業務委託費	15,042,510	7,228,947	7,813,563
保険料	347,079	356,451	▲ 9,372
租税公課	10,447,250	11,885,250	▲ 1,438,000
共益費	33,473,832	33,473,832	0
清掃費	1,882,566	1,996,207	▲ 113,641
雑費	6,943,102	5,983,657	959,445

科 目	当年度	前年度	増 減
医学研究助成金	5,500,000	4,290,000	1,210,000
海外渡航助成金	2,000,000	2,500,000	▲ 500,000
助成金選考謝礼金	668,220	444,444	223,776
健康セミナー費	3,528,544	6,269,723	▲ 2,741,179
健診報告懇話会費	277,060	321,450	▲ 44,390
相談研究事業費	55,685	1,180,720	▲ 1,125,035
広報費	4,884,830	1,563,500	3,321,330
建物造作減価償却費	4,175,678	4,329,771	▲ 154,093
建物付属設備減価償却費	4,292,889	6,411,316	▲ 2,118,427
器具備品減価償却費	2,398,439	4,196,590	▲ 1,798,151
リース資産減価償却費	12,862,556	7,052,746	5,809,810
② 管理費	9,243,141	9,540,917	▲ 297,776
役員報酬	6,483,298	6,604,709	▲ 121,411
給料手当	461,120	613,302	▲ 152,182
基準外給料	721	0	721
賞与	34,574	107,839	▲ 73,265
賞与引当金繰入額	31,152	46,020	▲ 14,868
役員退職慰労引当金繰入額	320,000	90,000	230,000
役員退職慰労金	0	29,600	▲ 29,600
退職給付費用	12,567	32,686	▲ 20,119
福利厚生費	319,346	261,299	58,047
旅費交通費	46,264	54,413	▲ 8,149
会議費	85,235	214,892	▲ 129,657
交際費	22,138	35,901	▲ 13,763
通信費	27,582	27,521	61
什器備品費	13,503	1,758	11,745
割賦・機器リース料	74,284	77,901	▲ 3,617
消耗品費	68,237	67,362	875
修繕費	40,117	31,776	8,341
印刷製本費	25,760	36,854	▲ 11,094
水道光熱費	35,877	32,623	3,254
借室料	563,398	585,139	▲ 21,741
業務委託費	322,694	335,938	▲ 13,244
保険料	3,004	2,930	74
共益費	160,608	160,608	0
清掃費	7,434	9,293	▲ 1,859
雑費	84,228	80,553	3,675
経常費用計	655,573,305	687,311,147	▲ 31,737,842
評価損益等調整前当期経常増減額	23,804,511	▲ 25,025,352	48,829,863
特定資産評価損益等	26,070,000	45,557,200	▲ 19,487,200
投資有価証券評価損益等	39,662,000	54,627,000	▲ 14,965,000
評価損益等	65,732,000	100,184,200	▲ 34,452,200
当期経常増減額	89,536,511	75,158,848	14,377,663
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 過年度修正益	1,799,364	0	1,799,364
過年度修正益	1,799,364	0	1,799,364
経常外収益計	1,799,364	0	1,799,364
(2) 経常外費用			
① 除却損失	464,714	0	464,714
器具備品除却損	464,714	0	464,714
経常外費用計	464,714	0	464,714
当期経常外増減額	1,334,650	0	1,334,650
当期一般正味財産増減額	90,871,161	75,158,848	15,712,313
一般正味財産期首残高	719,241,473	644,082,625	75,158,848
一般正味財産期末残高	810,112,634	719,241,473	90,871,161
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産評価益	0	5,275,783,152	▲ 5,275,783,152
基本財産評価益	0	5,275,783,152	▲ 5,275,783,152
基本財産有価証券評価益	0	5,275,783,152	▲ 5,275,783,152
② 基本財産評価損	▲ 1,148,097,888	0	▲ 1,148,097,888
基本財産評価損	▲ 1,148,097,888	0	▲ 1,148,097,888
基本財産有価証券評価損	▲ 1,148,097,888	0	▲ 1,148,097,888
③ 一般正味財産への振替額	▲ 984,860	▲ 1,689,297	704,437
一般正味財産への振替額	▲ 984,860	▲ 1,689,297	704,437
当期指定正味財産増減額	▲ 1,149,082,748	5,274,093,855	▲ 6,423,176,603
指定正味財産期首残高	18,566,358,820	13,292,264,965	5,274,093,855
指定正味財産期末残高	17,417,276,072	18,566,358,820	▲ 1,149,082,748
III 正味財産期末残高	18,227,388,706	19,285,600,293	▲ 1,058,211,587

# 正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	生活習慣病研究事業			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	136,678,320	0	0	136,678,320
基本財産受取配当金	136,678,320	0	0	136,678,320
② 特定資産運用益	11,133,078	0	0	11,133,078
特定資産受取利息	11,133,078	0	0	11,133,078
③ 生活習慣病事業収益	514,391,521	9,243,141	0	523,634,662
健診研究事業収益	360,033,834	9,243,141	0	369,276,975
生活習慣病健診収益	300,246,708	9,243,141	0	309,489,849
雇用時健診収益	5,271,131	0	0	5,271,131
定期健診収益	21,632,093	0	0	21,632,093
区健診収益	32,883,902	0	0	32,883,902
診療研究事業収益	138,115,687	0	0	138,115,687
診療報酬収益	130,782,125	0	0	130,782,125
自費収益	5,487,609	0	0	5,487,609
再検査料収益	313,887	0	0	313,887
精密検査料収益	1,532,066	0	0	1,532,066
健康増進普及事業収益	16,242,000	0	0	16,242,000
健康相談事業収益	16,242,000	0	0	16,242,000
④ 受取補助金等	984,860	0	0	984,860
受取補助金等振替額	984,860	0	0	984,860
⑤ 雑収益	6,946,896	0	0	6,946,896
有価証券運用益	6,411,613	0	0	6,411,613
債券2運用益	1,697,120	0	0	1,697,120
債券4運用益	4,714,493	0	0	4,714,493
雑収益	535,283	0	0	535,283
経常収益計	670,134,675	9,243,141	0	679,377,816
(2) 経常費用				
① 生活習慣病研究事業費	646,330,164	0	0	646,330,164
役員報酬	21,800,000	0	0	21,800,000
給料手当	166,915,101	0	0	166,915,101
基準外給料	1,743,902	0	0	1,743,902
賞与	23,672,176	0	0	23,672,176
賞与引当金繰入額	15,703,848	0	0	15,703,848
役員退職慰労引当金繰入額	2,880,000	0	0	2,880,000
退職給付費用	7,809,433	0	0	7,809,433
臨時雇賃金	36,712,064	0	0	36,712,064
福利厚生費	41,230,184	0	0	41,230,184
旅費交通費	7,942,526	0	0	7,942,526
研究研修費	3,269,827	0	0	3,269,827
交際費	732,243	0	0	732,243
通信費	3,040,863	0	0	3,040,863
什器備品費	2,140,958	0	0	2,140,958
割賦・機器リース料	8,179,232	0	0	8,179,232
リース支払利息	453,485	0	0	453,485
検査・材料費	54,138,942	0	0	54,138,942
薬品費	4,688,845	0	0	4,688,845
消耗品費	12,871,390	0	0	12,871,390
修繕費	17,094,655	0	0	17,094,655
印刷製本費	4,292,703	0	0	4,292,703
水道光熱費	7,574,685	0	0	7,574,685
借室料	92,662,862	0	0	92,662,862
業務委託費	15,042,510	0	0	15,042,510
保険料	347,079	0	0	347,079
租税公課	10,447,250	0	0	10,447,250
共益費	33,473,832	0	0	33,473,832
清掃費	1,882,566	0	0	1,882,566
雑費	6,943,102	0	0	6,943,102

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	生活習慣病研究事業			
医学研究助成金	5,500,000	0	0	5,500,000
海外渡航助成金	2,000,000	0	0	2,000,000
助成金選考謝礼金	668,220	0	0	668,220
健康セミナー費	3,528,544	0	0	3,528,544
健診報告懇話会費	277,060	0	0	277,060
相談研究事業費	55,685	0	0	55,685
広報費	4,884,830	0	0	4,884,830
建物造作減価償却費	4,175,678	0	0	4,175,678
建物付属設備減価償却費	4,292,889	0	0	4,292,889
器具備品減価償却費	2,398,439	0	0	2,398,439
リース資産減価償却費	12,862,556	0	0	12,862,556
② 管理費	0	9,243,141	0	9,243,141
役員報酬	0	6,483,298	0	6,483,298
給料手当	0	461,120	0	461,120
基準外給料	0	721	0	721
賞与	0	34,574	0	34,574
賞与引当金繰入額	0	31,152	0	31,152
役員退職慰労引当金繰入額	0	320,000	0	320,000
退職給付費用	0	12,567	0	12,567
福利厚生費	0	319,346	0	319,346
旅費交通費	0	46,264	0	46,264
会議費	0	85,235	0	85,235
交際費	0	22,138	0	22,138
通信費	0	27,582	0	27,582
什器備品費	0	13,503	0	13,503
割賦・機器リース料	0	74,284	0	74,284
消耗品費	0	68,237	0	68,237
修繕費	0	40,117	0	40,117
印刷製本費	0	25,760	0	25,760
水道光熱費	0	35,877	0	35,877
借室料	0	563,398	0	563,398
業務委託費	0	322,694	0	322,694
保険料	0	3,004	0	3,004
共益費	0	160,608	0	160,608
清掃費	0	7,434	0	7,434
雑費	0	84,228	0	84,228
経常費用計	646,330,164	9,243,141	0	655,573,305
評価損益等調整前当期経常増減額	23,804,511	0	0	23,804,511
特定資産評価損益等	26,070,000	0	0	26,070,000
投資有価証券評価損益等	39,662,000	0	0	39,662,000
評価損益等	65,732,000	0	0	65,732,000
当期経常増減額	89,536,511	0	0	89,536,511
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 過年度修正益	1,799,364	0	0	1,799,364
過年度修正益	1,799,364	0	0	1,799,364
経常外収益計	1,799,364	0	0	1,799,364
(2) 経常外費用				
① 除却損失	464,714	0	0	464,714
器具備品除却損	464,714	0	0	464,714
経常外費用計	464,714	0	0	464,714
当期経常外増減額	1,334,650	0	0	1,334,650
当期一般正味財産増減額	90,871,161	0	0	90,871,161
一般正味財産期首残高	719,241,473	0	0	719,241,473
一般正味財産期末残高	810,112,634	0	0	810,112,634
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産評価損	▲ 1,148,097,888	0	0	▲ 1,148,097,888
基本財産評価損	▲ 1,148,097,888	0	0	▲ 1,148,097,888
基本財産有価証券評価損	▲ 1,148,097,888	0	0	▲ 1,148,097,888
② 一般正味財産への振替額	▲ 984,860	0	0	▲ 984,860
一般正味財産への振替額	▲ 984,860	0	0	▲ 984,860
当期指定正味財産増減額	▲ 1,149,082,748	0	0	▲ 1,149,082,748
指定正味財産期首残高	18,566,358,820	0	0	18,566,358,820
指定正味財産期末残高	17,417,276,072	0	0	17,417,276,072
III 正味財産期末残高	18,227,388,706	0	0	18,227,388,706

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

##### 投資有価証券

時価のあるもの……決算期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。

時価のないもの……総平均法による原価法によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品……先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

建物造作……定額法(但し、平成10年3月31日までは定率法)(リース資産を除く)

建物附属設備……定率法(リース資産を除く)

器具備品……定率法(リース資産を除く)

リース資産……自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産……リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付の支出に備えるため、当期末自己都合要支給額を計上している。

役員退職慰労引当金……役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく当期末要支給額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	投資有価証券	18,560,915,856	0	1,148,097,888	17,412,817,968
	小 計	18,560,915,856	0	1,148,097,888	17,412,817,968
特定資産	減価償却引当資産	50,000,000	0	0	50,000,000
	公益事業基金	223,400,000	212,980,000	86,910,000	349,470,000
	器具備品	4,723,552	0	1,969,721	2,753,831
	小 計	278,123,552	212,980,000	88,879,721	402,223,831
合 計		18,839,039,408	212,980,000	1,236,977,609	17,815,041,799

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類	科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	投資有価証券	17,412,817,968	17,412,817,968	0	-
	小 計	17,412,817,968	17,412,817,968	0	-
特定資産	減価償却引当資産	50,000,000	0	50,000,000	-
	公益事業基金	349,470,000	0	349,470,000	-
	器具備品	2,753,831	4,458,104	△ 1,704,273	-
	小 計	402,223,831	4,458,104	397,765,727	-
合 計		17,815,041,799	17,417,276,072	397,765,727	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物造作	181,352,300	107,497,985	73,854,315
建物附属設備	125,215,592	105,429,308	19,786,284
器具備品	43,352,562	40,035,640	3,316,922
リース資産	103,666,158	43,853,398	59,812,760
合計	453,586,612	296,816,331	156,770,281

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び内訳

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	東京都	5,442,964	0	984,860	4,458,104	指定正味財産
合計		5,442,964	0	984,860	4,458,104	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	0
減価償却費計上による振替額	984,860
経常外収益への振替額	0
目的達成による指定解除額	0
合計	984,860

7. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務  $\Delta$  86,066,000 円

退職給付引当金  $\Delta$  86,066,000 円

(3) 退職給付費用の内訳

勤務費用 7,822,000 円

退職給付費用 7,822,000 円

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当っては、退職慰労金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 過去勤務債務の額の処理年数 1年

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	14,435,250	15,735,000	14,435,250	0	15,735,000
退職給付引当金	79,798,000	7,822,000	1,554,000	0	86,066,000
役員退職慰労引当金	900,000	3,200,000	0	0	4,100,000
引当金計	95,133,250	26,757,000	15,989,250	0	105,901,000

# 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金として	768,270
預金	三井住友銀行新宿通支店普通預金	運転資金として	47,912,353
	三菱東京UFJ銀行新宿通支店普通預金	"	47,006,615
	山梨中央銀行新宿支店普通預金	"	9,118,247
			9,118,247
未収入金		健診・診療料金等	65,602,365
貯蔵品	手元保管	レントゲン材料	87,234
		検査材料	543,191
		薬品材料	275,090
前払費用		借室料・共益費4月分等	14,271,017
<b>流動資産合計</b>			<b>185,584,382</b>
<b>(固定資産)</b>			
基本財産	投資有価証券	(株)三越伊勢丹ホールディングス株式	17,412,817,968
特定資産	減価償却引当資産	三菱東京UFJ銀行新宿中央支店普通預金	50,000,000
	公益事業基金	三井住友銀行新宿通支店普通預金	201,150,000
		コミュニケーションクレジット債	91,940,000
		シルフリミテッド債	56,380,000
	器具備品	X線診断装置システム	2,753,831
<b>その他固定資産</b>			
建物造作 建物付属設備 器具備品 リース資産 敷金・保証金 投資有価証券	建物・造作 他		73,854,315
	電気設備 他		19,786,284
	X線診断装置システム 他		563,091
	電子内視鏡システム 他		59,812,760
	エステック情報ビル		87,699,900
	パークレイズ銀行債		86,200,000
	ノルウェー輸出金融公社債		31,530,000
	アジア開発銀行債		57,800,000
<b>固定資産合計</b>			<b>18,232,288,149</b>
<b>資産合計</b>			<b>18,417,872,531</b>
<b>(流動負債)</b>			
買掛金 未払金 リース債務 未払消費税 預り金 賞与引当金	医療機器等		3,688,397
			17,773,527
			15,903,353
	源泉所得税等		1,461,700
			1,863,785
			15,735,000
<b>流動負債合計</b>			<b>56,425,762</b>
<b>(固定負債)</b>			
リース債務 退職給付引当金 役員退職慰労引当金	医療機器等		43,892,063
			86,066,000
			4,100,000
<b>固定負債合計</b>			<b>134,058,063</b>
<b>負債合計</b>			<b>190,483,825</b>
<b>正味財産</b>			<b>18,227,388,706</b>

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
投資有価証券			(株)三越伊勢丹ホールディングス株式 17,412,817,968円	運用益を公益目的事業の財源としている
投資有価証券			コミュニンクレジット債 91,940,000円	運用益を公益目的事業の財源としている
投資有価証券			シルフリミテッド債 56,380,000円	運用益を公益目的事業の財源としている
建物造作			建物・造作 他 73,854,315円	公益目的事業の用に供している
建物附属設備			電気設備 他 19,786,284円	公益目的事業の用に供している
器具備品			フルデジタル乳房用X線診断装置 他 563,091円	公益目的事業の用に供している
リース資産			電子内視鏡システム 他 59,812,760円	公益目的事業の用に供している
投資有価証券			パークレイズ銀行債 86,200,000円	運用益を公益目的事業の財源としている
投資有価証券			ノルウェー輸出金融公社債 31,530,000円	運用益を公益目的事業の財源としている
投資有価証券			アジア開発銀行債 57,800,000円	運用益を公益目的事業の財源としている
敷金・保証金			エステック情報ビル 87,699,900円	公益目的事業の用に供している
合計			17,978,384,318円	